

冬期講習会最終日と3学期授業初日には、塾生の自覚を促す「武者語り」を各々1時間ずつ確実に実施することを怠らないことをお願い。

開倫塾
塾長 林 明夫

1. 皆様のご努力のお陰で、2009年度冬期講習会と正月特訓は開倫塾の歴史の上で最高の参加者となりました。有難く心から感謝申し上げます。
2. 何十回、何百回も申し上げて恐縮ですが、「教育の成果」は「本人の自覚」と「教師の力量」という2つの「要因」で決定されます。学力を向上させるためには教科の内容を教えるだけでは不足で、「本人の自覚」を促すことが求められます。
3. 塾生数が7000名になりつつある開倫塾では、「本人の自覚」を促すしくみとして、毎授業中は3分以上、各学期の初日と最終日、各講習会の初日と最終日、オプションコースの初日と最終日には各々1時間ずつ、本人の自覚を促す「武者語り」をすることが全校長、全講師の義務事項となっております。
4. 冬期講習会最終日と3学期授業初日には必ず1時間の「武者語り」を怠りなく行うようお願い申し上げます。怠るのは、義務違反です。
5. 「武者語り」の中で、「学び方を学ぶ」スキルを身につけるにはどうしたらよいかを「学習の3段階理論」を通して御指導下さい。
6. 「読書」の仕方を身につけて「思慮深さ」を身につけること、「新聞」を毎日読み「批判的思考能力」を身につけることも具体的に御指導下さい。
7. 全校長、全講師の皆様が本気で「塾生の自覚を促す」ための「武者語り」に取り組んで下されば、塾生全員の学力は確実に上昇し、塾生の行きたい学校つまり「一流校」合格も確実になります。
8. 塾生「一人ひとりをどうにかしてあげようという熱い気持ち・情熱が教育」であります。よろしくようお願い申し上げます。
9. 尚、「武者語り」する内容は予め「メモ」し、すべて暗記すること。「武者語り」した後メモに省察・反省内容を朱書きしてファイルすることは、レッスン・プランと同様です。がんばりましょう。

感謝